

教員の教育・研究活動報告

役職／職名	准教授	所属	現代国際学部 現代英語学科
ふりがな	ふくしま　みのり	生年	
学歴	韓国 延世大学大学院社会学科博士課程修了		
学位	博士(社会学)〔2005年 延世大学〕		
研究分野	人文・社会 / 社会学 / 現代韓国社会論、世代、ジェンダー		
研究テーマ	世代・ジェンダーの日韓比較、現代韓国社会論		

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
現代韓国を知るための61章	共	2024	明石書店	石坂浩一・福島みのり共編著
<日韓連帯>の政治社会学	共	2024	青土社	担当箇所：「名古屋三資・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会」
静かな転換-3.11がもたらした可能性の空間（韓国語）	単	2015	教育共同体「友」	
現代韓国を知るための60章	共	2014	明石書店	石坂浩一・福島みのり共編著
韓国語 1 2 3	単	2013	白水社	
現代韓国の家族政策	共	2010	行路社	担当箇所：第7章 ユン・ホンシク(日本語訳)「離婚とシングルマザー」pp.139-164」、第8章「シングル女性の実態と非婚化(pp.165-184)」
韓国民運運動家のまなざし 日本社会の希望を求めて（翻訳書）	共	2010	風土社	担当箇所：第4章 (pp.161～251)
韓国環境運動の社会学（翻訳書）	共	2001	法政大学出版局	担当箇所：第6章 (pp.175-253)・第7章 (pp.255-271)

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
専門家コラム 「若者から考える日韓交流の『これから』－授業実践を通じた歴史認識問題と日韓共通課題への提案	単	2025年7月	東アジア平和協力センター（立命館大学衣笠総合研究機構）	
K文学は日本の読者に何をもたらしたのか？	単	2025年6月	Artes MUNDI(nagoya University of Foreign Studies) Spring 2025(Vol.10 p.217-221)	
ポストコロニアル時代に新たな「研究」と「学び」はいかに可能かー越韓混浄の「自己物語」論を中心に	単	2023年3月	Artes MUNDI(nagoya University of Foreign Studies) Spring2023(Vol.8 28-43) 2023.3.31	
日本における『82年生まれ、キム・ジョン』とK文学ブーム：フェミニズムと社会批判を中心に（韓国語）	単	2022年12月	『ハングルと博物館』（国立ハングル博物館）第2号 pp.236-251	
韓国の若者の「退社」現象に関する研究－トランジションの非直線化と自己のナラティブの観点から	単	2022年10月	『韓国朝鮮の文化と社会』第21号 pp.1-7-140	
世代論から読み解く韓国若者論の変容 新世代・88万ウォン世代・N放世代を中心に(特集論文「世代から見えてくる韓国」)	単	2020年12月	『現代韓国朝鮮研究』第20号（現代韓国朝鮮学会）	
『82年生まれ、キム・ジョン』に熱狂する日本の読者のその後(韓国語：『82년생 김지영』에 열광한 일본 독자들, 그 이후는 어떻게 되었을까)	単	2020年6月	『文化科学』vol.102（文化社会研究所）	
日本社会における『82年生まれ、キム・ジョン』の受容ー日本の女性は目らの生をどう言語化したのか	単	2020年3月	『常葉大学外国語学部紀要』(36)	
在日コリアンはどうように表象されてきたのかー多文化共生から排除されたオールドカマーをめぐる言説を中心にー	単	2019年11月	『国際行動学研究』第14号（国際行動学会）	
k-popと日本の若者-トランスネーションとネーションの境間で（韓国語：케이팝과 일본의 청년들: 트랜스네이션과 네이션 사이에서)	単	2019年3月	『文化科学』vol.97（文化社会研究所、ソウル）	
若者世代における「社会性の不在」を読み解くー『君の名は。』の大ヒットに見られる存在論的不安と承認欲求ー（韓国語）	単	2017年9月	『文化科学』vol.91(文化社会研究所、ソウル)	
1990年代以降の若者世代論から読み解く「SEALDS」現象（韓国語）	単	2016年6月	『教養学研究(The Journal of General Education)』vol.3（韓国中央大学教養学部、ダビンチ未来研究所）	
韓国「88万ウォン世代」論に関する研究-当事者による受容と実践を中心に-	単	2012年10月	韓国・朝鮮文化研究会『韓国朝鮮の文化と社会』第11号（韓国朝鮮の文化研究会）	
韓国「モダン」の現代的受容と実践ー2000年以降の映画・ドラマを中心にー	単	2010年3月	『人文研究』第170号（神奈川大学人文学会）	
韓国失業問題についての一考察ー社会的企業で働く20代を中心にー	単	2010年3月	早稲田大学国際教養学部『WASEDA GLOBAL FORUM』第6号（早稲田大学国際教養学部）	
韓国シングル女性の实態と非婚化に関する研究ー20、30代を中心にー	単	2008年3月	『国際交流学部紀要』第10号(フエリス女学院大学国際交流学部)	
大学院進学とポスト青年期の関連性についての考察ー高学歴世代の「実存の危機」をめぐるー	単	2006年11月	『現代韓国朝鮮研究』第6号（現代韓国朝鮮学会）	

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
「名古屋三資・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会」の「ほうせん花2022」	単	2022年12月	シンポジウム「国民国家を超える伝統、文化、そして連帯」早稲田大学戸山キャンパス	
日本における『82年生まれ、キム・ジョン』と韓国文学ブームーフェミニズムと社会批判を中心に	単	2022年10月	グローバリコンテンツツカikai、国際学術大会（韓国、ソウル）	
20代男性の揺れ動くアイデンティティへ韓国大統領選挙2022年前後を中心に	単	2022年7月	静岡県労働研究所第169回定例研究会	
社会・政治と向き合う韓国若者と大衆文化	単	2022年7月	東北アジア学会静岡地域研究会「台湾・韓国・北朝鮮の文化と若者文化」	
公開講演会「早川嘉春先生と韓国語教育」（公開講演会）	単	2022年3月	立教大学 平和・コミュニティ研究機構 主催	
日本の若者世代における『82年生まれ、キム・ジョン』の受容へヤングフェミニズムの可能性を中心に～	単	2022年2月	韓国日本学会第103回国際学術大会	
脱植民地時代における「自己物語」の実践～越韓混浄の「学びの共同体」を中心に	単	2022年2月	常葉大学外国語学部海外事情談話会	
日韓関係;大転換の前線;地方・ジェンダー;世代) (討論担当) (「日韓関係：大転換を論じる」)	共	2021年8月	国際シンポジウム、ソウル	
文化は政治を超えられるかーK-pop/K文学ブームと若者世代の役割ー	単	2021年6月	静岡日韓親善協会 記念講演会	
「若者世代のジェンダー意識～日韓の社会意識の比較を通して～」	共	2021年5月	ジェンダーの不等等とは何か（現代日本ゼミナール8期2回講座）	
「99年生まれ、佐藤亜美の実践」	単	2021年5月	国際行動学会 2021年度第17回年次大会(オンライン大会)	
『82年生まれ、キム・ジョン』がもたらした自由な表現の力	単	2021年3月	春のシンポジウム「表現の自由と多文化社会」/(パナリスト報告、静岡県労働研究所)	
「現在の日韓関係における日韓の市民の相手国に対するまなざし～世代、ジェンダーによる相違、大衆文化と政治の関連性から～」	単	2019年11月	日本科学社会論研究文部(「日韓問題」シンポジウム、パナリスト報告)	
k-popと日本の若者ートランスナショナルとナショナルの狭間でー第67回関東社会学会大会	単	2019年6月	第67回関東社会学会大会（一般報告）	
在日コリアンはどうのように表象されてきたのかー多文化共生から排除されたオールドカマーをめぐる言説を中心にー	共	2018年11月	国際行動学会第15回年次大会シンポジウム、パナリスト報告	
韓国の若年層を取り巻く雇用環境と派生する社会の問題	共	2017年10月	現代韓国朝鮮学会 第18回研究大会 共通論議	

主な職務上の業績

社会的活動等

活動事項	期間（年月）	活動機関名
2024年度内閣府青年国際交流事業 日本・韓国青年親善事業－事前講義担当「韓国の大衆文化から学べるものは？」（日韓学生交流の事前講義）」	2024年8月16日	令和6年度日本・韓国青年親善交流事業 事前研修(青少年国際交流推進センター)
2023年度内閣府青年国際交流事業 日本・韓国青年親善事業－事前講義担当「韓国若者世代の学校教育・就労・若者政策」に関する講義（日韓学生交流の事前講義）」	2023年7月15日	2023年度日本・韓国青年親善交流事業（内閣府主催）
カフェ・コーヒー・コリア Beyond the Border 名古屋展（コラボ企画：韓国の大衆文化byチームNUFS)	2023年1月21日～2023年1月29日	カフェ・コーヒー・コリア主催：Beyond the Border名古屋展 実行委員会 企画：Social Gallery KYEUM 協力 早稲田大学文化構想学部金敬熙研究室、早稲田大学アジア研究所、名古屋外国語大学福島研究室 助成：交易財団法人日韓文化交流基金「ポストコロナの日韓交流」プログラム
2022日韓市民100人未来対話招聘参加（ZOOM開催）／分科セッション「ジェンダー平等社会のための日韓市民の努力と課題」	2022年11月11日～11月13日	韓国国際交流財団、早稲田大学韓国学研究所、ソウル大学日本研究所2022年
2022年度内閣府青年国際交流事業 日本・韓国青年親善交流事業 事前講義担当（テーマ：社会運動、ジェンダー、日韓関係：私たち若者にできることは？）	2022年10月31日	2022年日本・韓国青年親善交流事業（内閣府主催）
韓国国際交流財団奨学生ワークショップ(2021年度)	2021年11月6日	韓国国際交流財団 東京事務所
2020日韓市民100人未来対話招聘参加(ZOOM開催)	2020年10月31日・2020年11月1日	韓国国際交流財団、早稲田大学韓国学研究所、ソウル大学日本研究所

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
日本社会学会
現代韓国朝鮮学会
カルチュラル・スタディーズ学会
韓国・朝鮮文化研究会
関東社会学会
国際行動学会

所属学会役員歴等

所属学会及び役員名	期間（年月）	備考
現代韓国朝鮮学会 編集委員長	2025年2月～現在	
アジア研究基金（韓国） プログラム委員	2023年3月～現在	
国際行動学会 企画委員	2022年4月～現在	
現代韓国朝鮮学会 編集委員	2017年4月～2018年3月／2021年4月～2023年3月	
現代韓国朝鮮学会 理事	2018年4月～現在	
早稲田大学韓国学研究所 招聘研究員	2014年4月～現在	
現代韓国朝鮮学会 企画委員	2015年～2017年	

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
慶應大学法学部非常勤講師(2023年4月～現在)	2023年4月～現在	文獻講読Ⅱ（朝鮮語）
名古屋外国語大学現代国際学部現代英語学科准教授	2022年4月～現在	Academic SkillsⅠⅡ／基礎ゼミナールⅠⅡ／専門書講読Ⅱ／韓国語A-1、2／English and the World C(東アジア)
常葉大学外国語学部准教授	2017年4月～2022年3月	韓国語、東アジアの社会、東アジア特殊講義、特別研究（ゼミ）、協働研究セミナー等。
慶応大学法学部非常勤講師（2019年4月～2021年3月）	2019年4月～2021年3月	朝鮮語文献講読
立教大学兼任講師	2016年4月・2019年3月	朝鮮語／朝鮮語圏の文化と社会／アジア地域の平和構築
常葉大学専任講師	2013年4月～2017年3月	韓国語、東アジアの社会、東アジア特殊講義、特別研究（ゼミ）、協働研究セミナー等。
早稲田大学国際教養学部、グローバルエデュケーションセンター非常勤講師	2005年4月～2019年3月	朝鮮語、文献講読、朝鮮語圏の文化、社会等。

科学研究費等外部資金採択実績

名称	題名	機関名（採択時）	年度	備考
基礎研究(B)（一般）	親密圏と公共圏からみる[日韓連帯]の政治社会学	名古屋外国語大学	2022年度	

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
専門書講読Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ	現代国際学部現代英語学科
東アジアのk-popカルチャー	現代国際学部現代英語学科
Academic SkillsⅠ,Ⅱ	現代国際学部現代英語学科
アジア・オセアニア研究B（韓国）	エリア・スタディーズ基盤
English and the World C(東アジア)	現代国際学部現代英語学科
基礎ゼミナールⅠ	現代国際学部現代英語学科
韓国語AーⅠ（初級）	副言語プログラム
韓国語BーⅠ（初級）	副言語プログラム
韓国語Aー2（初級）	副言語プログラム
韓国語Aー2（初級）	副言語プログラム
韓国語Aー3（中級／文法）	副言語プログラム
韓国語Bー3（中級／会話）	副言語プログラム
韓国語Aー4（中級／文法）	副言語プログラム
韓国語Aー4（中級／会話）	副言語プログラム